

1 題材名 「生活を支えるお金と物」

2 題材について

(1) 題材について

本題材は、物や金銭の使い方と買い物の仕方の学習を通して、家族の生活を支えている物や金銭の大切さへの関心を高め、物の選び方や買い方に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、お金の計画的な使い方を考え、必要な物を購入できる能力や実践的な態度を育てることをねらいとしている。

現代は、物が豊かになり、購買意欲をかきたてる情報化社会の中で、生活に必要な物を的確に選択したり、判断したりすることが難しくなっている。一方では、資源には限りがあり、環境を保全しながら暮らすことが求められている。そこで、本題材は、児童がこれまであまり意識することのなかった物や金銭の大切さへの関心を高めるきっかけとして位置付く題材である。

本単元を学習することにより、家族の生活を支えている物や金銭の大切さへの関心を高め、物の選び方や買い方に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。さらに、お金の計画的な使い方を考え、必要な物を購入できる能力や実践的な態度を育て、身近な消費生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度につなげていく。本題材は、物や金銭の活用として、自分の生活を見つめ直し、主体的に生活できる消費者としての素地を育てることができる題材であると考えられる。

(2) 児童の実態について

実態調査の結果から、学級のほぼ全員が、食料品や文房具、お菓子などを買った経験があり、多くの児童が値段をもとに買う商品を決めていることが分かった。中には、予算をもとに買う物を決めたり、余計な物は買わないようにしたりしているという回答もあった。よく買い物をする場所としては、コンビニエンスストアと回答した児童が最も多く、次いで本屋、スーパーと、近場で必要な物を購入している児童が多いことが分かった。

商品を買った後に「失敗した」と感じた経験については、「買ったがあまり使わなかった」、「思っていたものと違った」、「すぐ壊れてしまった」という回答が多くみられ、よく考えずに無計画的な買い物をしている児童が多数いることが分かった。

売買契約に関わる部分である「返品・返金してもらったことはあるか」という質問に対しては、「ない」と回答した児童が半数以上だった。「ある」と回答した児童のほとんどは、保護者が返品をしており、「服のサイズが合わなかった」、「間違っって同じものを買ってしまった」など、自己都合による返品がほとんどであった。

(3) 指導の方針について

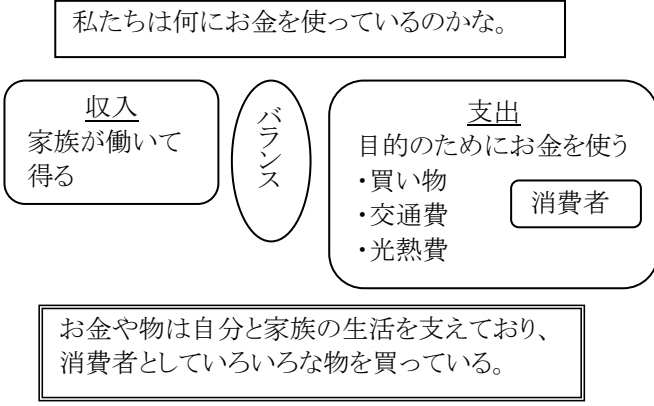
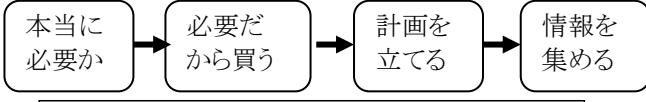
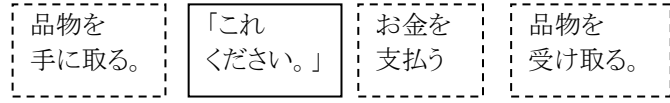
本時(公開授業)では、売買契約の成立について扱う。児童の実態などを踏まえ、契約の意味や、売り手側と消費者側の双方の合意によって成立するという売買契約の基礎を理解させたい。その上で、何気ない生活にも、意識する・しないに関わらず「契約」が存在していることや、契約が成立する前にじっくりと考える必要があることを感じさせ、お互いがよりよく売買契約できるよう、商品を購入するにあたって大切なことを考えさせたい。

その際、児童にとって身近であるコンビニエンスストアや書店での買い物場面を取り扱うことで、より具体的に、実感を伴った理解ができるように配慮していく。また、実際に返品した経験を児童に聞きながら、契約の意味についておさえていきたい。

3 題材の目標

- (1) 買い物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方、身近な物の選び方について理解するとともに、それに係る技能を身に付ける。(知識・技能)
- (2) 身近な物の選び方、買い方や環境に配慮した物の使い方などについて問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける(思考力・判断力・表現力等)
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと物や金銭の使い方と買物、環境について配慮した生活について課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

4 指導計画(5時間扱い)

時	学習内容・活動内容	○留意点・◎評価等
1	<p>私たちは何にお金を使っているのかな。</p>  <p>収入 家族が働いて 得る</p> <p>バランス</p> <p>支出 目的のためにお金を使う ・買い物 ・交通費 ・光熱費</p> <p>消費者</p> <p>お金や物は自分と家族の生活を支えており、 消費者としていろいろな物を買っている。</p>	<p>○家族が働いて得たお金であり、消費者として、お金や物の使い方をよく考える必要があることを理解できるようにする。</p> <p>◎買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さについて理解している。(知)</p>
2	<p>失敗しないためにも、買う前にどんなことを考えたらよいただろう。</p>  <p>本当に必要か → 必要だから買う → 計画を立てる → 情報を集める</p> <p>必要か考えたり購入しようとする物の価格や特徴などの情報を比べたりすることは消費者の役割。環境についても意識する。</p> <p>契約と約束にはどんな違いがあるかな</p> <p>契約はお金を払って物を受け取るよ</p> <p>約束は家族など身内で行われるね</p>	<p>○なぜ、買う前に考える必要があるのか、消費者の役割を理解できるようにする。</p> <p>○「必要かどうか」だけでなく、趣味など「必要でないがほしい」場合にも触れ、計画の必要性に気付けるようにする。</p> <p>◎物や金銭の計画的な使い方について理解している。(知)</p> <p>○「約束」と「契約」の違いを押さえる。</p>
3 (本時・公開授業)	<p>物の売り買いが成立するのはどんな時だろう。</p> <p>契約成立!</p>  <p>品物を手にする。 「これください。」 お金を支払う 品物を受け取る。</p> <p>お互いの意思が合意すれば、契約が成立するんだ</p>	<p>○買い物で、「契約」が成立するのはどの場面かを、具体的に考えることができるようにする。</p>



	<p>商品を買った後に返品できるか考えてみよう</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">レシート があれば</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">開けてい なければ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分のミス はダメ</div> </div> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">契約だから、自分の都合で取り消せない。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">むやみに返品できないから、買った後のことをよく考えてから買い物をするのが大切。</div>	<p>○返品について児童の経験を想起させ、より具体的に考えることができるようにする。</p> <p>○返品にあたり、自己都合による場合と、売る側の責任とを区別して考えることができるように促す。</p> <p>◎買い物の仕組みについて理解している。(知)</p>
4	<p>賢く買い物をするには、どんなことを考えたらよいだろう。</p> <div style="display: flex; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">ノート</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="text-align: center;">買う前に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当に必要か ・予算は ・買うべきか </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">買う時に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質、マーク、値段 ・目的や予算にあうか ・環境への配慮・好み </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">お金や物の使い方を見直して計画的な使い方を考えたり工夫したりすることが大切。</div>	<p>○商品を選ぶ時の観点を考える際には、児童にとって身近で、実際に買う場面を想定できるような物にする。</p> <p>○商品に付いている表示やマークを確認する必要性を理解できるようにする。</p> <p>◎購入するために必要な情報の収集・整理を理解していると共に、適切に選択・判断できる。(思)</p>
5	<p>買い物の仕方の工夫についてまとめよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>第1条 <u>買う前に必要かどうかよく考える。</u></p> <p>第2条 <u>買った後のことも考える。</u></p> <p>第3条 <u>買い物の前には計画を立てる。</u></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「買い物名人3か条」を生活に活かそう。</div>	<p>○学習したことをもとに、物の選び方や買い方について理解を深められるようにする。</p> <p>◎身近な物の選び方、買い方について、様々な解決方法を考え、表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p>

5 本時(公開授業)の学習

(1) 本時の目標

- ・買い物の仕組みについて理解する。(知識・技能)
- ・売買契約で注意することや配慮することを考え、身近な物の選び方・買い方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを表現する。(思考力・判断力・表現力等)

(2) 本時の展開(3/5)

累計時間	○児童・生徒の学習活動	・教師のかかわり
5分	<p>【題材を貫く学習課題】 賢い消費者になるために、大切なことは何だろう。</p> <p>○売買契約がいつ成立するかを知る。</p> <p>お金を払った時かな 商品を受け取ったときだと思う</p> <p>買う物を決める レジで店員に商品を渡す お金を支払う 商品を受け取る</p> <p>売買契約の成立</p>	<p>・「契約」の具体的な意味について押さえるようにする。</p> <p>・タブレットを使ってそれぞれの立場が一目で分かるようにする。</p>
10分	<p>○「返品」「返金」が行えない場合について考える。</p> <p> 同じ物を二つ買ってしまったので、返品したいです。 消費者</p> <p> (契約なので) 返品はできません。 売る人</p>	<p>・子どもの具体的な経験を引き合いに出し、返品は店側のサービスであったことに気付かせる。</p>
20分	<p>【学習課題】 商品を購入した後に、返品することはできるだろうか。</p> <p>サイズが合わず、交換してもらったよ 買った人の都合では、本当は返品できないのだね</p> <p>○買い物をする際に気をつけること、大切なことを考える。</p> <p>よく考えてから買わないと後悔する 必要かどうか考えるのはやっぱり大切だね</p> <p>軽い気持ちで買うのは良くないね 家族としっかり話してから買った方がいいのかも</p>	<p>・買い物をして失敗した経験などを交えて理解できるようにする。</p>
35分	<p>【課題解決の姿】 買う前に、本当に必要かどうか確認したり、よく調べたりしてから買うことが大切。</p> <p>○振り返りを記入する。</p>	<p>・賢い消費者になるために大切なことを具体的に記述できるようにする。</p>

(3) 本時の評価

- ・買い物の仕組みについて理解している。(振り返り、発言など)
- ・売買契約で注意することや配慮することを考え、身近な物の選び方・買い方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを表視している。(振り返り)

以上